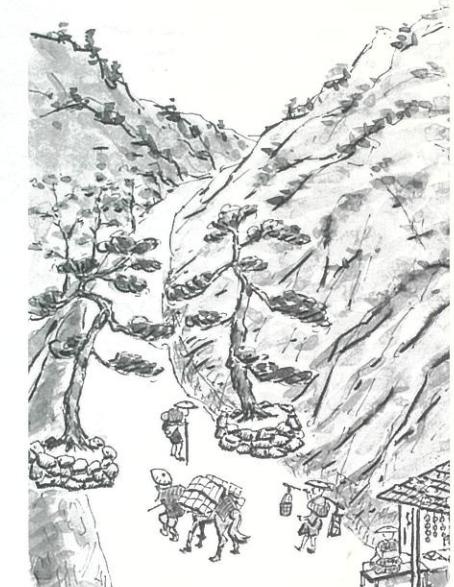


# 第20回ひがし広島の 史跡文化財を見て歩く会

(西国街道を歩く)  
平成16年4月29日



日向一里塚の風景



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号国地中複発第351号)

**主催** 東広島郷土史研究会  
**協賛** 西条ロータリークラブ、東広島ウエストライオンズクラブ、東広島市観光協会、東広島青年会議所、東広島21ロータリークラブ、東広島ライオンズクラブ、東広島ロータリークラブ（五十音順）  
**後援** 東広島市教育委員会、東広島市商工会議所、広島中央農業協同組合、中国新聞社、中国放送株式会社、(株)広島テレビ、東広島リビング新聞社、(株)プレスネット（順不同）

**編集兼発行** 東広島市高屋町重兼35  
堀越敬實方  
東広島郷土史研究会  
電話 082 (434) 2348 (非売品)

**築地神社** 祭神は品陀和氣命、帶仲津彦命、長足媛命。元和年中(1615~24)火災にあり、古文書、古器など消失。拝殿に藤原春鶴の絵馬、境内に春鶴の頌徳碑(市史跡)がある。

**荒谷土居屋敷** 中世の武家屋敷跡で屋敷の廻りに土塁が残っている。南側に大手門があり、土塁の外側に堀が回らされていたが、道路工事などで今は無い。

**荒谷家墓地** 荒谷土居屋敷の東方約200mの山中に7基の宝篋印塔をはじめ多くの古墓がある。

**茗荷清水** 「音に聞こえし茗荷の清水、三原御前酒にあとるまい」といわれ、西国街道を旅する人々のどをうるあした。

**三永の石門** 明治の初頃、西国街道にかわる国道2号線とするため掘削工事をすることになったが、農業用水路が通っており、アーチ式の石門を造りその上に水路を通した。昭和53年、国道2号の拡幅工事のため、約100m西の現在地に復元。



復元された三永の石門

**石立神社** 祭神は伊邪那岐命。地上から立てられた石がご神体。昭和29年(1954)築地神社へ合併されたが、そのまま元の場所に鎮座している。

**日向一里塚跡** 東広島・呉道路建設に伴ない発掘調査が行われ、西国街道の両側に周囲に張石をした直径6mの一里塚跡が出土した。一里塚は主要街道の一里(約4km)ごとに両側に土を盛り上げて塚をつくり、松などを植えて標識とした。



発掘された日向一里塚

**松子山峠** 西国街道の中でも特に厳しく西の小箱根の異名があり、頬山陽が竹原へ行く途中ここから乞食姿になって脱藩し京都へ行った話は有名。

**松子貯水池と浄水場** 田万里川の最上部にあり、昭和26年(1951)西条町が竹原町などから水利権を買い取り、松子山浄水場を新設し、昭和30年(1955)から上水道用として利用されるようになった。

**かご松** 高さ40m、幹回り6mの大きな松があつて、西國の大名がこの大松の木陰でかごを止めて休んだことから、かご松と呼ばれた。多くの旅人もこの木陰で休息した。昭和18年(1943)頃枯れたため切り倒された。

**今宮神社** 昔ほうろくを行商する男が毎日この道を通っているとき、老いた牛がいて毎日食べ物を与えていたが、死んでいたので体をなでてやったところ牛が小判になったという牛満長者伝説ゆかりの神社。

**歌謡坂一里塚跡** 日向一里塚から一里(約4km)の位置にある。名の由来は、牛満長者の田植えがここから歌を唄って始めたからという。

**廢大林寺** 地蔵堂があり、本尊は地蔵菩薩(秘仏)。境内に六地蔵、脇八十八(江戸末期の土与丸村の庄屋)の頌徳碑がある。

**正徳神社** 正徳元年(1711)農夫が荒地を開墾していく、背に風神と刻まれた木像を発見、社を建ててまつたと伝える。

**安芸国分寺** 聖武天皇の勅願によって国家鎮護のため建立された。律令崩壊後は真言宗御室派として栄え今日に至る。現在、周辺一帯は国史跡に指定。発掘調査が行われ創建以降の貴重な遺跡・遺物が出士している。将来歴史公園として整備される。



安芸国分寺仁王門

**福寿院円通寺** 臨済宗妙心寺派。聖徳太子の古道場であったと伝える。宝永3年(1706)広島興善寺4世法孫実田が再興。京都竜安寺の石庭を模した庭園が造られている。

**酒蔵通り** 西条駅周辺の西国街道沿いに立ち並ぶ酒造会社8社の酒蔵群は白壁となまこ壁に赤レンガの煙突が美しく調和した風情あるまち並み。



酒蔵群と酒蔵通り

**四日市御茶屋跡** 広島藩営の本陣。幕府役人や西国大名などが宿泊した。明治になって賀茂郡役所、後、賀茂郡地方事務所などがあかれた。現在は賀茂鶴酒造(株)本社となっている。



四日市御茶屋御門

**教善寺** 浄土真宗本願寺派。江戸時代には藩より代官直支配などの待遇をうけた。庫裏は明治2年(1869)広島藩が志和八条原に建てた講堂を移築したもの。

**御建神社** 元、西条駅の東側にあり、祇園社といい、明治42年(1909)町内の若宮神社、金崎神社などを合併し翌年現在地へ移転した。

